

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)
 Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2019年1月21日 (月)

NO. 928号

本号3頁

『安倍9条改憲 NO！辺野古新基地建設は断念を！ 安倍政権退陣！1・19 国会議員会館前行動』

市民と野党の共闘で、安倍9条改憲を阻止し、安倍政権を退陣に追い込む年にしようと19日、総がかり行動実行委員会と、「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」が今年最初となる国会議員会館前行動に取り組みました。2800人が参加し、「安倍9条の改憲反対」「辺野古に基地はつくらせないぞ」と声をあげました。



駆けつけた立憲民主党の菅直人衆院議員と、日本共産党の吉良よし子参院議員がスピーチ。吉良氏は、ウソやごまかしの安倍政治を今年こそ終わらせようと訴え、「こうした暴走をするのは、安倍政権が追いつめられているからです。今年は大事な選挙が続きます。必ず勝利し、一緒に政治を変えましょう」と呼びかけました。

主催者あいさつした「戦争させない1000人委員会」の内田雅敏さんは、当面の喫緊するたたかいとして、「改憲発議の阻止、沖縄・辺野古への米軍新基地建設阻止、東アジアをめぐる平和の問題を重視しましょう」と呼びかけました。

その後、市民団体などから4人がスピーチ。その一人が憲法会議のホームページを管理していた「戦争はいやだ調布市民の会」の鈴木彰さん(78)。鈴木さんは「市民の会」が戦争法が国会に提出された2015年に結成され、その後、国会前行動等に調布から参加するとともに、調布市内で470回の宣伝・集会等がとりくまれ16000人の市民が参加したこと、市内で22万枚のビラを配布したことなどを報告し、「調布でも月3回ほどのペースで行動を続けています。今年は改憲阻止と、安倍政権を退陣させるために大事な年です。共闘の力で頑張りたい」と話しました。

憲法9条壊すな!実行委員会 新宿駅西口で3000万人署名等呼びかける!

憲法9条壊すな!実行委員会は16日夜、新宿駅西口で全国3000万人統一署名と「沖縄辺野古土砂投入止めよ」の両署名を呼びかけました。寒い日でしたが、36人が参加し、改憲反対署名が50人、辺野古署名が49人集まりました。歌あり紙芝居ありの賑やかな署名行動でした。

たくさんの方が足を止めて、歌に耳を傾け、紙芝居に見入っていました。そして、珍しいのでしょうか、スマホで写真を撮る外人さんも多数いました。

40代の男性が「9条改憲は反対ですか、憲法改正は必要だと思います」と語りかけて来ました。彼の主張は「70年も憲法を変えないのはおかしい。句読点さえ変わっていない。時代に合ったように変えるべきだ」「アメリカが書いた憲法は変えた方がいい」とのこと。しかし、具体的にどこを変えるべきかは語りませんでした。10分程度、丁寧にお話ししました。特に、「今はま



ず安倍9条改憲を一緒にストップさせよう」と話しました。最後に、彼は「いつもこの通りを通っているの、また話させてください」と帰られました。宣伝行動の最後は、国会前集会でもよく歌っています「真実沈まない」を歌い、終わりました。

日立がイギリスでの原発建設計画凍結 安倍政権の原発輸出政策の大失敗！

日立製作所は17日、イギリスで進めている原子力発電所の建設計画への参加を凍結し、これに伴って、今年度およそ3000億円の損失を計上すると発表しました。日立は取締役会を開き、イギリス中部・アングルシー島で進められている原子力発電所の建設計画への参加を凍結することを決めました。凍結の理由について日立は、安全対策などでコストが膨らむ見通しになるなか、イギリス政府などとの調整にはさらに時間がかかり、事業の採算の確保が今の時点で見通せないためとしています。これに伴って、およそ3000億円を損失として計上し、ことし3月までの今年度の最終利益の見通しを従来の4000億円から1000億円に下方修正しました。

日本国内で新たな原発の建設が事実上、ストップするなか、この計画は日本企業の原発事業の新たな収益確保や技術の継承の面からも注目されてきましたが、大きな節目を迎えることとなります。



英政府のクラークビジネス・エネルギー・産業戦略相は17日、議会で発言し、「この計画にはイギリス政府として出資を決め、日本政府の支援もあったが、原子力エネルギーのコストは上昇しており、日立としてはそれでは投資が十分回収できないということだった」と述べました。そのうえで、「原発の建設を成功させるには、新たな資金調達の方法を見つけなくてはならない。日立とはこれからも話し合っていきたい」と述べて、日立側と協議を続けていく考えを示しました。

安倍政権の原発輸出計画は行き詰まり・大失敗

安倍政権はエネルギー政策の中で原発を「重要なベースロード電源」と位置づけています。また、原発の輸出を成長戦略の柱の1つに掲げていて、日本企業のビジネス拡大につながるだけでなく、福島第一原発の事故のあと、国内では新たな原発の建設が難しいなか、海外での受注を通して原発関連産業の技術力を維持するねらいがありました。海外では温室効果ガスの排出削減につながるなどとして、原発の建設を進めたい国もあり、イギリスだけでなく、リトアニアやトルコ、それにベトナムで日本企業が原発の建設を計画し、輸出に向けた準備を進めていました。

ところが福島事故のあと、安全対策工事をはじめとするコストが大幅に膨らんだことなどから、いずれも計画が行き詰まっています。国内で原発の新設が進まないうへ、三菱重工業が参画するトルコでの建設計画も、昨年12月に断念に向けた調整に入ったことが明らかになりました。実現性が残る唯一の日立の案件でしたが凍結となり、安倍政権の原発輸出政策は大失敗となりました。

世論調査 安倍内閣の支持率は横ばい

憲法改正論議「早く進めるべき」はわずか23%

1月12・13日に共同通信、朝日新聞、そして15日にはNHKが世論調査を行いました。安倍内閣の支持率+2ポイント程度で横ばい。一方で、NHKの「国会での憲法改正に向けた議論について、早く進めるべき」がわずか23%でした。

(1) 安倍内閣の支持率 横ばい

- ① NHK ・支持する 43% (+2) ・支持しない 35% (-3)
 - 支持する理由 ・他の内閣より良さそうだから 46%
 - ・実行力があるから 18%
 - ・支持する政党の内閣だから 15%
 - 支持しない理由 ・政策に期待できない 36%
 - ・人柄が信頼できない 34%
 - ・支持する政党の内閣でないから 11%
- ② 朝日新聞 ・支持する 46% ・支持しない 46%

- ③ 共同通信 ・支持 43.4% (+1) ・不支持 42.3%
- 支持する理由 ・ほかに適当な人がいない 48.0 ・外交に期待できる 11.5
- 支持しない理由 ・首相が信頼できない 36.5 ・経済政策に期待が持てない 27.8
- ・外交に期待がもてない 11.2

▼相変わらず、「他の内閣より良さそうだから」「ほかに適当な人がいない」との理由で支持する人が支持する人の半数近くいます。また、安倍首相は外交で支持率を上げようとしているようですが、共同通信の調査では、「外交に期待できる」と「外交に期待が持てない」がほぼ同数となっています。そして、支持しない理由は、「人柄が信頼できない」「首相が信頼できない」が相変わらず多数を占めています。

(2) 憲法改正「早く進めるべき 23%」に過ぎず！

NHKは「安倍総理大臣は2020年を新しい憲法が施行される年にしたいとして、憲法改正に意欲を示しています。国会での憲法改正に向けた議論について」と聞き、

- ・早く進めるべき 23% ・急いで進める必要はない 50% ・憲法改正の議論をする必要はない 14%

▼「急いで進める必要はない」「憲法改正の議論をする必要はない」を合わせると、64%に達し、「早く進めるべき」はわずか23%と、回答者の4分の1に過ぎませんでした。

(3) その他 毎月勤労統計についての根本厚労相の対応や説明に納得できないが7割

朝日新聞の調査で、「2019年10月に消費税を10%に引き上げることに」、賛成33%、反対59%。さらに、「今回の消費増税が、将来の社会保障制度に対する不安解消に」、つながる18%、つながらない75%と紹介しています。

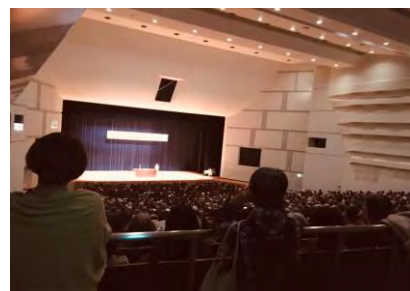
そして、今大問題となっている毎月勤労統計については、「根本厚労相の対応や説明に納得できますか」との問いに、納得できる18.0%、納得できない69.1%、わからない・無回12.9%でした。▼このように消費税増税反対が6割を占め、その増税が社会保障制度に対する不安の解消につながらないと、国民は見抜いています。そして、毎月勤労統計問題では実に7割の国民が説明等に「納得できない」と回答しています。

各地のとくみ

東京 東京25区で1100人が参加し、「憲法のつどい」開催

「安倍9条改憲NO！憲法を生かそう」「オスプレイ横田基地配備反対」を掲げた市民団体・平和大好き市民アクション@東京25が主催した「松本ヒロ・香山リカ 憲法のつどい」が12日、昭和島市民会館大ホールで開催されました。

2階まで満席で、立ち見の方も出た1100人超の参加者で埋まった会場は、開始早々からコメディアン松本ヒロ氏の一人芝居で爆笑の渦に包まれ、香山リカ立教大学教授（精神科医）の講演では、共感の拍手が続きました。香山さんは、「自分を騙さないといけなくなっているんですよ、そういうマズイ状況になっているんですよ。なかったことにする、見なかったことにする、考えなかったことにする、周りを否認して自分を強くみせる。そんなことしても、なんの解決にもなりません。向かい合って語り合うことが解決につながります。」と話しました。



参加者は、「松本氏の公演は、笑いのうちに、平和の大切さ、コスタリカの歴史と現状などを学ばせていただいた」「香山氏の講演で、憲法9条を変えないことや人権を大切と思える自分は“正気”という話がよかった」など感想を述べ、元気いっぱいになりました。

実行委員会の清水政彦氏は「衆議院東京25区の地域で、『憲法』をテーマに満席の参加者が集まりました。つどい成功に感謝するとともに、大変励まされました」と話しました。

つどいの最後は、東京25区の昭島市、あきる野市、青梅市、羽村市、福生市、奥多摩町、日出町、瑞穂町、桧原村の9代表が壇上で手を結び、「安倍9条改憲を阻止し、国会発議させない運動を大きくしよう」とアピールし、拍手に包まれました。